

大垣 ～2016～

キッズピアおおがき 子育て支援センターオープン

10月、大垣駅南口の再開発ビル・スイトアベニュー2階に、まちなかの新たな子育て支援施設「キッズピアおおがき」子育て支援センターが、オープンしました。

子育て世代が集い交流し、気軽に相談や情報交換ができる場として、連日多くの親子連れでにぎわっています。



遊具や絵本などが充実した交流サロンでは親子で楽しめる催しや講座などを毎月開催。子育て相談や一時預かりも行っています。

また市は、未就学児と同伴の際に、運賃が無料になる「親子お出かけバスケット」を6月から配布。キッズピアまでの移動手段としても大いに活用していただいています。



子育て支援アプリを配信

子育て日本一のまちを目指す市は、今年新たに、「子育て支援アプリ」の無料配信を開始しました。アプリには、予防接種のスケジュールや、月齢に合わせた離乳食メニューが表示されるなど、便利な機能が満載です。

市は、今後も子育て支援施策を充実させ、住みよい環境を整備していきます。



2分の3成人式を開催

成人してから10年の機会に、地元大垣に集ってもらおうと「2分の3成人式」を開催しました。

社会経験を積んだ30歳の皆さんが節目の年に集まり、同世代や地域とのつながりを再確認することで、地域活性化につなげることをねらいとしています。

市は今後も、若い世代がふるさとで活躍できるように、さまざまな機会を提供していきます。



スイトスクエア大垣

大垣駅南口に完成



まちなか居住の推進や商業の活性化などを図るため、大垣駅南口の拠点施設として平成20年度から整備をすすめてきた大垣駅南街区再開発ビルが、「スイトスクエア大垣」として今年9月に完成しました。

施設は3棟のビルで構成し、北棟のスイトアベニュー2階にキッズピアおおがき子育て支援センターが開設されたほか、商業・業務施設や分譲マンションが入っています。

熊本地震の被災地を復興支援

—DMATなど職員を派遣—

4月に発生した熊本地震の被災地を支援するため、市民病院は災害派遣医療チーム(DMAT)および医療救護班として、医師・看護師・薬剤師・診療放射線技師・事務員の計11人を派遣しました。困難な状況で医療活動を行うという被災地での経験を生かし、今後予想される災害に備え、災害医療体制の確立を図っていきます。

また市は、建築技術職員や保健師なども派遣したほか、産業や観光に関わりのある宇土市・菊池市・八代市へ、支援物資を送りました。



7月 ◆消防操法大会(3日) ◆参議院議員通常選挙(10日) ◆大垣市民大賞授与式(14日) ◆もんでこかみいしづ(16日)=写真= ◆すのまた天王祭(24日)

8月 ◆子ども向け市HP「おおがきっず!」公開(1日～) ◆水都っ子ウィーク(2日～) ◆水都まつり(4日～) ◆奥の細道むすびの地記念館夏まつり(7日) ◆総合防災訓練(28日)

9月 ◆コミックタウンギャラリーおおがき2016(2日～) ◆映画「聲の形」特



別鑑賞会inおおがき(3日) ◆第3回市議会定例会(5日～) ◆ツール・ド・西美濃(18日) ◆墨俣一夜城築城450年記念講演会(22日) ◆スイトスクエア大垣竣工式(22日) ◆全国レクリエーション大会in岐阜(23～25日)=写真=

10月 ◆奥の細道サミット(1・2日) ◆大垣めしグランプリ(1日～) ◆守屋多々志美術館特別展(1日～) ◆すのまた秀吉出世まつり(2日) ◆キッズピアおおがき開所式(3日) ◆十万石まつり(9日) ◆市民の健康広場(16日) ◆芭蕉



蛤塚忌全国俳句大会(16日) ◆ふれあいかみいしづ(23日)

11月 ◆市教育功労者表彰式(2日) ◆三成ゆかりの地サミット(5～6日) ◆中山道赤坂宿まつり(6日) ◆芭蕉元禄大垣きもの園遊会(6日) ◆かがやきライフタウン大垣「秋のつどい」(19・20日) ◆芭蕉元禄大垣楽市・楽座まるごとバザール(19・20日) ◆芭蕉元禄大垣イルミネーション(26日～) ◆名誉県民・名誉市民故田口義嘉壽氏追悼式(29日)

12月 ◆「大垣祭の軌行」ユネスコ無形文化遺産登録・記念セレモニー(1日) ◆大垣城年末大掃除(6日) ◆第4回市議会定例会(5日～) ◆おおがきマラソン2016(11日)